

区間について、詳細設計のための地質調査が実施される予定になっている。市としては、現在、柏原地区との調整協議やアクセスの関連などで神ノ郷、坂本地区との事前調整を進めている状況である。

中央バイパスについては、本宿線東の未整備である第二工区を十六年度前期に供用開始できるよう県と協力して積極的に事業推進している。本宿線西は、三工区に分けて施工を予定しており、詳細設計と残っている用地買収を全力で進めていく予定である。

鎌田篤司（市政クラブ）

広域行政への取り組み方について

問 「地方分権」「行政改革」を進めるには、広域的な視点から行政を推進することが必要である。他市町村との機能分担や広域連携についてどう考えるか

答 将来的には、この市にもある市民病院や市民会館が話題の中心となる



ことも考えられる。厳しい経済状況下、地域の連携と役割分担は、今後ますます必要になると認識している。

国の「三位一体改革」に対する市の考えは

問 国の三位一体改革で、税源移譲の大幅な見直しが必要であった場合、市は、事務事業の大幅な見直しや中止を考えることになるのか。

答 交付金等の大幅な削減や税源移譲がなされなければ、相当な財源不足を来すことになり、財源のみならず、すべての事業について見直し、思い切った改革が必要であると考える。

小林武男（市政クラブ）

高齢者福祉の一層の充実を

問 高齢者保健福祉計画の安心確保事業と、社会福祉協議会で実施している地域福祉権利擁護事業の内容について伺う。

答 安心確保事業は、生活不安のあるお年寄りの家庭へ支援員を派遣して日常生活を支援するもので、高齢化が進むことが予想される中、家庭支援策として検討していきたい。

地域福祉権利擁護事業は、福祉サービスを利用するときの手続き、通帳、印鑑の保管などの支援計画を作成し、契約書を取り交わして実施されるもので、現在三人の方が利用している。

JR三河大塚駅整備の状況は

問 駅整備の進展が見られない。状況はどうか。

答 JR東海の整備基準に満たないのがネックで

JR三河大塚駅



ある。今後、会を発足された地元の皆さんと一体となって取り組んでいきたい。

来本健作（未来の会）

蒲都市のあり方について

問 市のあり方について、次の点を伺う。

市町村合併について、本市の現状と市長の考えは。観光振興を図るため、コンベンションビュローの設置、フィルム・コミッションの設立及び「観光都市宣言」をする考えはないか。

答 民意が合併への必須条件という考えは今も同じである。現在、電子会議室を準備中であるが、こうした場も活用し、議論してもらいたいと考えている。

コンベンションビュロー、フィルム・コミッションは、人材・財政の問題や施設の問題などもあり、市単独というよりも広域連携事業として、今後の検討課題としたいと考えている。

また、観光都市宣言は、新たな切り口での宣言を観光ビジョンを策定していく中で検討していきたい。

- その他の質問
- 1 商店街の活性化

大竹利信（公明党）

ヒヤリ地図の作成を

問 地域住民の目線で見たい交通事故の危険箇所をピックアップした「ヒヤリ地図」を作成してはどうか。

また、その地図を全戸に配布し、交通安全啓発運動